

まじい

坂井市議会
PRマガジン



Topics

- ・ 議長・副議長あいさつ 1
- ・ 第24回 議会報告会 3～4
- ・ 小学生が議場の見学に来ました！ 21
etc

6月定例会

坂井市

第69号

2023.8

令和4年度 政務活動費の会派収支について報告します

政務活動費とは…

- ・議員の調査研究、その他の活動に資するため必要な費用の一部として、議会における会派に対し交付されるものです。
- ・各月1日時点の会派の所属議員数に月額50,000円をかけた金額が交付されます。
- ・収支内容は、毎年度議長に報告し、残額がある場合は市に返還することになっています。
- ・議会ホームページにて各会派の収支報告書を公開しています。



▲ 議会ホームページ
(政務活動費について)

《令和4年4月分》

科目	会派名	創志会	政和会	志政会	政友会	日本共産党議員団	公明党	政立会	合計
		収入	350,000	300,000	200,000	200,000	100,000	50,000	
	政務活動費	350,000	300,000	200,000	200,000	100,000	50,000	50,000	1,250,000
	預金利子	5	0	0	0	0	0	1	6
	合計	350,005	300,000	200,000	200,000	100,000	50,000	50,001	1,250,006
支出	調査研究費	0	0	0	0	0	0	0	0
	研修費	0	0	0	0	0	0	0	0
	広報費	0	0	0	0	0	0	0	0
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0
	要望・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	18,958	25,003	21,428	0	2,469	0	0	67,858
	資料購入費	0	5,060	0	0	0	0	0	5,060
	人件費	5,580	0	10,230	0	0	0	0	15,810
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務費	2,310	1,980	1,320	1,320	660	330	330	8,250
その他の経費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	26,848	32,043	32,978	1,320	3,129	330	330	96,978
残 額		323,157	267,957	167,022	198,680	96,871	49,670	49,671	1,153,028
返還額	政務活動費	323,152	267,957	167,022	198,680	96,871	49,670	49,670	1,153,022
	預金利子	5	0	0	0	0	0	1	6

《令和4年5月～令和5年3月》

※令和4年4月の改選により、5月から会派構成が変わりました。
(単位:円)

科目	会派名	創政会	政友会	志政会	日本共産党議員団	公明党	合計
		収入	7,450,000	2,200,000	1,650,000	1,050,000	
	政務活動費	7,450,000	2,200,000	1,650,000	1,050,000	550,000	12,900,000
	預金利子	21	11	11	2	3	48
	合計	7,450,021	2,200,011	1,650,011	1,050,002	550,003	12,900,048
支出	調査研究費	338,582	755,119	158,885	0	0	1,252,586
	研修費	1,323,030	119,610	365,845	0	0	1,808,485
	広報費	314,380	0	0	746,914	0	1,061,294
	広聴費	0	0	0	0	0	0
	要望・陳情活動費	472,320	0	0	0	0	472,320
	会議費	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	785,490	27,434	288,763	57,035	0	1,158,722
	資料購入費	82,810	0	0	29,064	0	111,874
	人件費	173,666	0	0	0	0	173,666
	事務所費	0	0	0	0	0	0
	事務費	48,840	14,520	10,890	7,260	3,630	85,140
その他の経費	0	0	0	0	0	0	
	合計	3,539,118	916,683	824,383	840,273	3,630	6,124,087
残 額		3,910,903	1,283,328	825,628	209,729	546,373	6,775,961
返還額	政務活動費	3,910,882	1,283,317	825,617	209,727	546,370	6,775,913
	預金利子	21	11	11	2	3	48

政務活動費の主な使途事項

- 調査研究費
会派が行う市の事務、地方財政等に関する調査研究(視察を含む)及び調査委託に要する経費
- 研修費
①会派が研修会、講演会等を開催(共同開催を含む)するために要する経費
②団体等が開催する研修会(視察を含む)、講演会等への参加に要する経費
- 広報費
会派が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費
- 広聴費
会派が行う住民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
- 要望・陳情活動費
会派が要望、陳情活動を行うために必要な経費
- 資料作成費
会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
- 資料購入費
会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
- 人件費
会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費
- 事務費
会派が行う活動に係る事務の遂行に要する経費



議長・副議長あいさつ

令和5年5月2日、第2回臨時会において、議長・副議長に新しく就任しましたのでみなさまにご挨拶申し上げます。



議長 辻 人志

このたび、令和5年第2回坂井市議会臨時会において、議員各位のご推挙をいただき、第十四代議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄と存じますとともに、その職責の重さに、改めて身の引き締まる思いでございます。

さて、市民生活に影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症は、発生から3年が経過し、5月には感染症法上の2類から5類へと引き下げられました。私達の生活も、コロナ禍以前の日常に戻りつつありますが、引き続き、日頃の感染予防に努めていかねばならないと思います。

また、少子高齢化の進行、社会の多様化、デジタル化など時代の急速な変化への対応、さらには来年3月の北陸新幹線福井・敦賀開業に向けての二次交通整備や観光まちづくりなどが急務とされる中、地方行政が停滞することは許されません。

坂井市民憲章に掲げられている「希望に満ちたまちの実現」を目指して、市議会もその機能を十分に発揮し、身近で信頼される開かれた議会となるよう、円滑な議会運営と議会の活性化に全力で取り組んでまいります。

今後とも、市民の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願いを申し上げます。議長就任のご挨拶とさせていただきます。



副議長 戸板 進

今回、議員各位のご推挙によりまして、副議長に就任いたしました。この責任ある役職に就任することを心から光栄に感じますとともに、その重大さについて痛感しております。

さて、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、従来の日常生活へと戻りつつある一方で、国際情勢の不安定などに伴う原油価格や物価などの高騰対策、全国各地で多発している豪雨災害などの自然災害への対策など市民の方々が安心・安全に暮らせるまちづくりは大変重要な課題であります。

また、人口減少や少子高齢化に伴う社会構造の変化により労働力不足や医療・介護の問題など、複雑多様化する社会問題の解決のために、市民の皆様的身近にある地方自治体の役割は大変重要な位置づけにあるものと認識しております。

先だっては、コロナ禍で休止されておりました議会報告会を再開し、市民の皆様の声の聞こえに伺うことができました。議会としましては、市民の皆様の声を真摯に受け止め、市政に反映させていけるよう鋭意努力していく所存でございます。

最後に、議長の補佐役として円滑な議会運営に努めることはもとより、市の発展のため誠心誠意尽力してまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

第24回 議会 報告 会

総務に関すること

- 廃屋に対する対応、解決策を検討すべき。
- 若者の投票率を上げるために、選挙に関心を持ってもらえるような施策を行うべき。(例えば、大学や高校などの学校に投票所を設けるなど。)
- 新築・リフォーム補助金や水道料補填などのPRが足らず、事後に知ることとなり補助金を使えない場合がある。市で補助金のマニュアルや冊子などを作成し、周知すべき。
- 坂井市役所に座席表がない。誰がどこにいるのか分からないので、座席表を作ってはどうか。

5月30日に竹田、大石、31日に新保、磯部、大関の各コミュニティセンターにおいて、対面での議会報告会を3年ぶりに開催しました。3月定例会の報告の後、グループに分かれて市政に関する意見交換を行いました。こちらには、市民の方々からの主なご意見などを掲載しています。

教育民生に関すること

- 資源ごみの意識改革を行い、分別について周知徹底すべき。
- 行政区と小学校区が違う所がある。住民から意見を聞き、見直すことも検討しては。
- 往診型の包括支援を行う※アクトの設置など、市内の精神科医療の拡充を検討すべき。
- いろいろな申請をインターネットでもできるようにすべき。
- 不登校の対応で「教室に戻す」ことだけでなく、それ以外の選択肢など、多様な解決方法を検討すべき。
- 限界集落化を心配している。区の再編を検討すべき。



※アクト…重い精神障害を持つ人が住み慣れた場所で暮らせるよう、様々な専門家のチームが支援すること。

産業建設に関すること

- ゆりの里公園は火曜日が休み、ゆりいちちは午後5時に閉店、レストランは閉まっていて。最初の構想とは全然違う公園であると感じる。もつと人が集まり、にぎわう公園にすべき。
- 鳥獣被害が多い。特にテクノポート未利用地などが生息地となり、福井市との連携が必要。



▲新保コミュニティセンター



▲磯部コミュニティセンター



▲大石コミュニティセンター



▲竹田コミュニティセンター

いたため、人に対する被害の懸念や、農作物への被害が増加している。獣害対策費用の増額を要望する。

- 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、観光客のおもてなしのために、観光地のDX化に取り組むべき。また、観光地のトイレの洋式化・ウォッシュレット化はすぐにでも取り掛かるべき。
- J R 丸岡駅から丸岡城へのアクセスが悪い。オンデマンド交通を観光客向けに対しても検討すべき。

- 以前から要望しているが、大石小学校前の通りの融雪装置を早急に整備すべき。
- 国・県・市で連携して、道路の管理をすることをお願いしたい。



▲大関コミュニティセンター



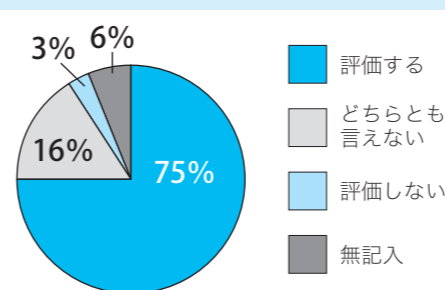
みなさんからお聞きしたご要望やご意見は…

議会報告委員会において整理し、回答が必要な場合は、関係課に確認の上、回答をしています。また、いただきましたご意見を取りまとめ、市長に報告をしたり、一般質問や常任委員会などで取り上げたりするなど、みなさまの声を市政に届けています。

議会報告会の総括

議会報告会では多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。コロナ禍で約3年ぶりの議会報告会であり、ご不便をおかけしましたが、今回の開催では、いろいろなご意見やご要望などが活発に出た議会報告会になったと感じられました。今後も市民との対話を増やし、実りある議会報告会にしていきたいと思います。

Q.議会報告会はどうでしたか。



アンケートから見る議会報告会への意見・感想

- 報告会に参加して、議会が身近に感じられた。
- 自分がたくさん情報を見逃していたことがよく分かった。
- 各議員の意見をもう少し多く聞きたかった。
- 現役世代の出席を促すため、土・日開催もお願いしたい。
- 普段「あれ？」と気づくことを気軽に議員さんにお伝えしようと思った。

定例会審議結果

★6月定例会に提出された議案と議決結果

○…賛成 ×…反対 □…棄権 △…欠席 ……原則採決に参加できない

議案番号	件名	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
			林	佐藤	廣瀬	鍋嶋	伊藤	岡部	山田	三宅	後藤	前川	上坂	戸板	古屋	田中	佐藤	松本	伊藤	辻	川畑	前田	永井	畑野	麻美子
議案第30号	(仮称)丸岡観光情報センター新築工事(建築)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	加戸小学校長寿命化改良工事(建築)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	長畝小学校長寿命化改良工事(建築)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	令和5年度坂井市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
議案第36号	令和5年度坂井市病院事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
議案第37号	坂井市農業振興基金条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
議案第38号	坂井市税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
議案第39号	令和5年度坂井市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
請願第2号	保育士配置の最低基準の引き上げと、保育予算の大幅な増額を求める意見書の提出を求める請願	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
陳情第3号	食料・農業・地域政策確立に向けた要請	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
発議第3号	食料・農業・地域政策確立に関する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○

※請願第1号 刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書の提出を求める請願…継続審査。

常任委員会ってなに?



次のページから常任委員会の報告を掲載しています。
みなさん、常任委員会って聞きなじみがないですね。
今回は常任委員会がどういう組織なのか解説します!



坂井市では、総務常任委員会、教育民生常任委員会、産業建設常任委員会の3つの常任委員会があります。議員は少なくとも1つの常任委員会に所属しています。



常任委員会は、少数数の議員で構成され、本会議から任された議案などについて、事業を実施する部署から実施状況の報告や説明を受け、きめ細かく審査を行います。



審査した後、常任委員会としての議案などに対する可否を決め、その結果を本会議で報告します。

議員と話ませんか?

議会との意見交換会を希望する団体を募集しています

本市議会では議会基本条例に基づき、議員の政策立案能力の強化および拡大を図るため、さまざまな団体との意見交換会を実施しています。
つきましては、下記のとおり意見交換会を希望する団体を募集します。



1 対象

市民グループ、自治会、まちづくり協議会、各種団体など市内に所在し活動する団体。

2 開催日時

応募団体の希望する日時をもとに、協議の上決定します。原則として議会の閉会中に開催します。

3 開催場所

応募団体の希望する会場で開催します。
会場については応募団体での確保をお願いします。

4 意見交換会の内容

申込書に記載されたテーマに基づき意見交換会を行います。時間はおおむね1時間30分までとします。

5 参加する議員

議会報告委員を中心に、テーマ・地域・規模などを考慮して選出します。

6 応募方法

申込書に必要事項を記載して議会事務局へご提出ください。FAX・メールでもお受けいたします。
様式は本市議会のホームページに掲載してあります。

7 その他

- 開催の可否については議会報告委員会で協議し決定します。応募されたテーマの内容、時期によっては、お受けできない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 開催方法などの詳細については、議会報告委員会と応募団体で協議させていただきます。
- 開催された意見交換会の内容は、後日議会だよりや市議会ホームページなどで記事にさせていただきます。



令和5年度 一般会計6月補正予算概要

補正額 **1億1,956万円**の増額 (補正後の額 433億4,956万円)

主な事業

◆社会福祉総務事業 **2億481万円**
電気・ガス・食料品などの価格高騰などによる負担増を踏まえ、家計への影響が大きい住民税非課税世帯などに対する支援を行うための経費を計上。

◆観光ビジョン戦略事業 **2,500万円**
国の重要文化財である「丸岡城」を活用し、特別な体験コンテンツの造成から販路開拓を行い、地域経済の活性化に向けたインバウンド観光促進のための経費を計上。

◆子育て世帯生活支援特別給付金支給事業 **8,390万円**
食費などの物価高騰の影響を受けている低所得の子育て世帯への給付金支給に係る経費を計上。

◆文化振興事業 **420万円**
コロナ禍の影響により、子どもたちの失われた文化体験の機会を確保するため、市内出身の音楽家などによる文化芸術に触れる事業を実施するための経費を計上。

◆丸岡地区活性化事業 **158万円**
北陸新幹線福井・敦賀開業、丸岡観光情報センターのリニューアルおよび丸岡藩の立藩から400年を迎える令和6年度までに、丸岡城周辺のデジタル版「まち歩きマップ」を整備するための経費を計上。

◆体育施設管理事業 **3,300万円**
丸岡スポーツランドにおいて、スケートボードを楽しむことができる初心者用・体験用のスケートボード広場を整備するとともに、周辺を芝生化しグランドゴルフなどへの供用を図るための経費を計上。

教育民生常任委員会報告

主な質疑内容

教育委員会

- 問 スケートボード広場等整備工事の概要は。
- 答 丸岡スポーツランド敷地内に初心者用・体験用の広場を整備し、周辺を芝生化してグランドゴルフなどに供用する。
- 問 文化芸術体験事業の規模や内容は。
- 答 全児童・生徒を対象に約50分程度のスクールコンサートを予定しており、4～5人のアーティストが学校を訪問し、児童も歌を歌うなど、体験型のコンサートを検討している。
- 問 図書館の休館日を見直せないか。
- 答 予約本の配送や返却本の回収が滞らないよう同一の月曜日を休館日としているが、今後検討していく。

健康福祉部

- 問 物価高騰対策支援事業（低所得世帯）の対象となる世帯数は。
- 答 国が示す条件に該当する対象世帯は、5,800世帯を見込んでいる。
- 問 高棟幼保園が閉園した後の活用は。
- 答 放課後児童クラブとして施設を活用していきたい。



▲ スケートボード広場予定地(丸岡スポーツランド)

三国病院

- 問 医師・看護師などの人材確保の現状と今後の見込みは。
- 答 現在は常勤医師が12名で、正規職員の看護師、助産師、准看護師は、再任用を含め66名が勤務しており、今後も計画的な採用に努める。

生活環境部

- 問 コミュニティバス改編事業により、学生の利用料金は高くないか。
- 答 負担が増えないよう検討したい。
- 問 マイナンバーカードと健康保険証の紐づけ状況はどのようになっているか。
- 答 令和5年4月14日時点では、坂井市国民健康保険加入者の54.84%がマイナ保険証の利用登録をしている。

請願・陳情

請願第2号	保育士配置の最低基準の引き上げと、保育予算の大幅な増額を求める意見書の提出を求める請願	趣旨採択
-------	---	------

※意見陳述者を招致し説明を受け審査

<主な意見>

- 配置基準の見直しにより、保育園に入園できない児童がでてくる可能性がある。
- 国が配置基準の見直しをしているが、配置基準の見直しだけでなく、保育士の確保や人材養成も必要である。

総務常任委員会報告

主な質疑内容

総務部

- 問 防犯カメラ設置補助金制度は、いつから実現するのか。
- 答 現在、県が地域向けの新たな防犯カメラ設置支援を予定しているため、その内容を踏まえて補助制度を創設したい。時期は未定である。

財務部

- 問 競争入札参加資格申請の定期受付期間や回数を増やすことができないか。
- 答 市では2カ年ごとに定期受付を行い、その1年後に新規登録者への追加受付の期間を設けている。近年申請件数が少数であることから、現行どおり行っていきたいと考えるが、入札業務の運営なども考えながら検討していきたい。
- 問 一般競争入札の対象金額をおおむね1,000万円から500万円以上に変更した理由とその効果は。
- 答 この改定により業者選定の透明性が図られ、また、入札参加者数が増えることにより競争性の高まりと経済的な価格での応札が見込める。

総合政策部

- 問 坂井市公式LINEの登録状況は。
- 答 現在の登録者数3,093人の内訳は、男女比で男性が約51%、女性が約49%。年代別では50歳以上が約55%と最も多く、次いで40歳代が約23%、30歳代が約14%、20歳代が約7%となっている。一番アクセスされているのが「自治会サポ」、次いで「広報・配布文書」「ごみ・リサイクル」「子育て」「防犯・防災」の順である。

- 問 空き家所有者アンケート調査の結果を受けて、どのように考えているのか。
- 答 空き家対策は活用、維持管理、除去の三分けに分かれる。早く所有者を決断へと導くために、相談体制の充実、民間事業者との連携を図りたい。また、一番困るのは地域なので、所有者と地域と一緒に考えていきたい。

請願・陳情

請願第1号	刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書の提出を求める請願	継続審査
-------	------------------------------------	------

※意見陳述者を招致し説明を受け審査

<主な意見>

- 再審は壁が高く法律を変えていく必要がある。
- 犯罪被害者への配慮も必要である。
- 最高裁判所や最高検察庁、弁護士連合会などで構成される協議会が一度も開催されていない理由が把握できない状況であることから、国の動向も注視しながら慎重に審議すべきである。



▲ 委員会管内視察の様子（嶺北消防組合「高機能消防指令システム」の説明を聞く）(6月27日)

一般質問

令和5年6月19日～21日の3日間にわたり、19人の議員による一般質問が行われました。次ページからは、質問項目中の特に市民の皆様へお届けしたい内容を掲載しています。全編については後日議会ホームページに掲載される会議録、YouTube(チャンネル名・福井県坂井市議会)をご覧ください。この文章は各議員が作成しています。

通告一覧

議員氏名	通告内容	ページ	議員氏名	通告内容	ページ
田中 哲治	(1) 池田市長の公約達成状況と今後の抱負について	11	林 豊夏	(1) 投票率について (2) ふるさと納税について	16
伊藤 宏実	(1) 移動投票所の成果と課題について (2) アンテナショップについて (3) 坂井市農業振興基金について	11	廣瀬 陽子	(1) 文化財の保存活用について	16
鍋嶋 邦広	(1) 来春の新幹線県内開業に向けての今年度中の受入れ準備計画について	12	岡部 恭典	(1) 人口減少と関係人口の活用について	17
伊藤 聖一	(1) 水道料金改定と低所得者対策について	12	古屋 信二	(1) 「ゼロカーボンシティ」の実現について	17
川畑 孝治	(1) 嶺北縦貫道路交通渋滞対策を (2) 社会教育について	13	畑野麻美子	(1) 市職員採用候補者試験、自己アピール型の周知と拡充を (2) 個室利用時の差額ベッド料について (3) ゼロカーボンシティに向け、具体的な取組が必要。0円ソーラーシステムなどの提案について	18
後藤 寿和	(1) 5類感染症への移行後の学校教育活動について (2) GREEN FLASH FESの総括	13	佐藤 寛治	(1) 春江駅周辺整備事業計画について	18
山田 秀樹	(1) 国際教育について (2) 雄島地区の火災消火用貯水について (3) GREEN FLASH FESについて (4) 新幹線福井開業に向けての機運醸成	14	三宅小百合	(1) 多世代が多目的に利用できるフリースペースの整備について (2) 熱中症対策について	19
上坂 健司	(1) こどもを核としたまちづくりについて (2) 地域サポート職員制度について	14	永井 純一	(1) 坂井市の教育について (2) 学校給食費の完全無償化について (3) パートナースhip・ファミリーシップ制度の制定について (4) 带状疱疹ワクチン接種の助成について (5) お悔やみコーナー設置について	19
佐藤 岳之	(1) 小中学校の体育館の空調(冷房)設備の設置について (2) スポーツ振興に関する施設整備について	15	松本 朗	(1) マイナ保険証の混雑と保険証廃止について (2) 空き家対策の前進のために (3) 水道責任引き取り制の見直し等で水道料金の引上げ方針を見直し	20
前田 嘉彦	「誰にでもやさしいまちづくり」 (1) 高齢者、障がい者、子育てファミリーにやさしいまちづくり (2) 観光客にもやさしいまちづくり (3) 誰にでもやさしい学校施設づくり	15			

※一般質問とは…定例会において、議員が市の実施している事業の状況や方針などについて、市から報告や説明を求めるために質問することです。

産業建設常任委員会報告

主な質疑内容

産業政策部

- 問** 有害鳥獣捕獲事業の状況は。
- 答** 捕獲鳥獣の処分手数料、カラスの檻維持管理作業出役や猟銃捕殺費用などで、令和4年度は803万円の見込みである。今後、捕獲檻の効果的な設置や、雑草地の整備など、関係機関と連携していく。
- 問** ゆりの里公園内のゆりいちの営業時間や経営形態、レストランの跡地は。
- 答** 営業時間は、令和5年6月から午前9時から午後5時までに、営業形態は、委託販売70%、仕入れ販売が30%である。レストランの跡地活用は、指定管理者と協議を進めているところで、テイクアウトを中心とした公園内で楽しめるものを考えている。
- 問** 三国港市場振興事業の進捗状況は。
- 答** 一般社団法人三国港市場が市場内に加工作業所を設置し、鮮魚の加工販売を行っている。冷凍加工食品については令和5年度で対応していく。
- 問** DMOさかい観光局の事業成果は。
- 答** 令和3年度に中期ビジョンで、「美食の郷越前坂井」を策定し、現在は甘エビレシビ集などにより、「食」をテーマとした機運醸成に努めている。



▲ 令和5年5月に、旧春江工業高校跡地に開所した日本海側の産業技術総合研究所「北陸デジタルものづくりセンター」

建設部

- 問** 国道305号線 新保橋周辺における、朝夕の慢性的な渋滞の解決策は。
- 答** 新保橋は、幅員が狭くなっていることに加え、通勤車両も多く、今後は勤務時間の分散なども含め、関係企業の協力を得て、渋滞の解決を図っていくことも考えていく。
- 問** 福井港丸岡インター連絡道路の進捗状況は。
- 答** 1期区間(丸岡町八ツ口～坂井町福島)と2期区間(坂井町福島～春江町西長田)に分かれ、令和4年度末事業費ベースでは、1期区間が約52%の進捗率である。2期区間は、地元と協議し、現在、道路設計や用地測量、物件調査を進めている。令和5年度は、用地交渉に着手する予定と聞いている。

請願・陳情

陳情第3号	食料・農業・地域政策確立に向けた要請	採択
-------	--------------------	----

※意見陳述者を招致し説明を受け審査

<主な意見>

○農業資材や肥料価格の高騰が続く中、価格転嫁も進まない状況であり、農業者の経営も苦しい現状を踏まえると、国、県、市としても営農継続できるよう支援し、安心安全な食を守るために賛成とする。

☆発議第3号にて陳情をもとに意見書を提出。

池田市長の公約達成状況と今後の抱負は

問 「チームさかい」の7つの政策の取り組み状況と課題は。

答 全国で初めて結婚フォーラムを開催し、結婚アイデアコンテスト表彰も行った。「結婚するならば、相談するならば、笑顔になるならば坂井市」のキャッチフレーズも今後、合言葉として浸透させたい。

問 課題は、移住定住、結婚支援、空き家対策、ブランディング事業を検証しながら見直し、効果を高めていきたい。

問 第2期坂井市子ども・子育て支援事業計画の実施状況と課題、第3期計画策定に向けての考え方は。

答 令和2年から5年間の計画期間で、コロナ禍の影響もあったが、子育ての相談体制の充実などは、成果が上がっている。

問 新たな施策は、全天候型の子どもの遊び場整備や、スケートボード広場の新しい取り組みである。

問 市民から信頼され、役に立つ市役所づくり、明るく元気に前向きな職場づくりの成果と考え方は。

答 窓口としては、困難な相談があった場合でも、関係課が連携し、一緒に考える体制を整えている。令和4年度に、若手職員の政策提案制度を設け、結婚応援やブラ



田中 哲治

問 「チームさかい」の7つの政策も含めた今後の抱負は。

答 職業教育、ふるさと教育分野がこれから大事であると、市民の意見もいただき、教育委員会に担っていたように進めている。

問 また、行政のみならず、いろんな人と連携していき、対談の中で新たなアイデアなどをいただき、事業を進めていく。



▲坂井市結婚応援フォーラム（令和5年6月18日、みくに未来ホールにて）

令和6年春の新幹線県内開業に向けての本市の令和5年度内受入環境整備計画は

問 タクシー事業者、運転代行事業者の実態把握と※オーパーツーリズム回避のための具体的解決策の検討は。（例えば、地域住民と観光客のタクシーの奪い合いによる市民生活への悪影響など。）

答 タクシーの台数は供給過多という判断であるが、車両に対して運転手が不足しているというところは明らかになっており、運転手の確保ができれば、さらなる利用者の増加にも対応できる余地はある。

問 ただし、二次交通の問題は非常に大きく、加えてインバウンド対応はこれからです。重要になっており、県にも強く要請している。

問 県の6月補正予算においてもかなりの部分で充実策が見られるので、本市としてもしっかりと把握しながら、さらなる充実に努めていく。

問 観光案内所の機能強化、パンフレット・サイン、飲食店・土産店などにおける多言語対応の状況は。



▲令和6年春の北陸新幹線福井・敦賀開業を控え、受入準備の進む芦原温泉駅周辺

※オーパーツーリズム…観光客増により、地域住民の生活や自然環境などに対して悪影響を及ぼすこと。



鍋嶋 邦広

問 飲食店・土産店などの多言語対応はさらに進める必要があると認識している。

答 令和5年度より、外国人観光客の受入環境整備事業補助金を新設し、事業者支援に取り組む。

移動投票所の成果と課題は

問 令和5年春の知事・県議選で実施した「移動投票所」の成果や課題は。

答 令和5年4月4日にバスを借り上げて、サカイドライビングスクールとえち鉄三国駅の2カ所を実施し、全体で36名の方が投票した。今後の運用についてはさらに検討していきたい。

アンテナショップの状況は

問 坂井市アンテナショップがリニューアルオープンして2カ月弱となるが、この間の状況は。

答 令和5年5月末までの売り上げが約550万円、客数は約3千人となっている。お客様からも好評でおおむね順調に再出発できたと考えている。

小規模農家へ農業振興基金の活用を

問 農業公社解散により新設される農業振興基金の活用策は。

答 公社の業務は農業再生協議会に引き継がれるが、再生協議会の事



伊藤 宏実

問 米作りが盛んな坂井市で、小規模農家も頑張っている。「続ける農業」への支援策は。

答 大規模化はもうかる農業として避けて通れないが、小規模であっても引き継いで頑張りたいという農家も応援するのは行政の役割と認識している。限られた財源の中で効果を見ながら検討していきたい。



▲大豆の培土作業（坂井町上関地係）

水道料金の改定と低所得者対策

問 水道料金等検討委員会から20%値上げの答申がなされたが、答申どおりの改定をするのか。

答 上下水道事業については、経営状況を考えると料金改定は避けては通れない課題である。

問 新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中で、水道料金の改定は市民生活にも影響が大きいことから延期されてきた。

答 諸物価高騰の中で、上下水道料金を引き上げることにより、市民への大きな負担になることは理解しているが、今後の施設などの老朽化に伴う費用の増大など厳しい経営状況が予想され、料金の2割引き上げの答申に沿った内容で、令和6年度からの実施に向け今後議会でも議論いただきたい。

問 負担緩和措置や低所得者対策はどう考えているのか。

答 物価高騰の中で料金を引き上げは、市民生活に与える影響は大きいと認識しており、急激な負担増を緩和するための措置や低所得者の生活を守るための負担軽減策について検討を行っている。

問 上下水道インフラの計画的更新は、将来世代への負担軽減につながる重要な視点であり、確実な老



伊藤 聖一

問 朽化対策の実行をすべきであるが。

答 老朽化に対応する予防保全の考え方に基づく長寿命化を推進することにより、トータルコストを削減するとともに、平準化にもつなげていきたい。

問 施設の更新費用の財源については、料金の引き上げや市の一般財源に頼るだけでなく、災害への対応も考慮し、国からの支援を受けられないのか。

答 水道事業はなかなか採択が厳しい状況ではあるが、下水道事業については、更新計画策定や実施において補助があるので、補助を最大限に活用し、利用者の負担を極力抑えるよう考えていく。



▲料金改定が予定されている水道

嶺北縦貫道路交通渋滞対策を

問 春江地区において、商業施設が立ち並び、交通渋滞が慢性化しているため、対策に取り組むべき。

答 当路線は県道であり、渋滞緩和対策は、県の福井県道路整備プログラムの中で事業化検討箇所位置づけされており、複線化に向けた調査検討を進めている。

問 縦貫道路につながる市道に対しても、いろいろな角度から見直しが必要では。

答 市道随応寺・末政線についても交通渋滞になってきているため、県と連携して取り組みたい。



川畑 孝治

社会教育の推進を

問 人が社会生活を送るとき、それぞれの年齢・地域での社会教育団体に属して活動することが望ましいとされている。

問 市内の社会教育団体についてどのように把握しているのか。

答 女性の会をはじめ、PTA連合会、スポーツ協会など、活動を支援している団体にとどまっています。



▲混雑する嶺北縦貫道路(春江町随応寺地保)

子どもたちへの国際教育

問 国際性豊かな次代を担う人材育成の取り組みは。

答 他国の人々や多様な文化への理解、日本人としての自覚や国際理解と親善の心を持つことを目標とし、子どもたちの成長に応じた教育を実施している。

問 消火用水不足への対応は。

答 雄島地区には消火栓142基、防火水槽51基が設置されており、基準内である。



山田 秀樹

雄島地区の火災消火用貯水

問 安島区の消火用水の充実を望む声があるが。

答 安島区の水道管更新時に消防水利確保の観点も含め対処したい。

※GREEN FLASH FES

問 来場者分析結果から、次回開催に向けての見解は。

答 県内容が約85%、女性が約75%



▲前回(平成30年度)の英国派遣の様子(カーティフ市)

新幹線開業に向けての機運醸成

問 市民団体、学生、事業者など市民自らが企画する機運醸成活動を募り、補助、支援してはどうか。

答 市民の企画支援については関係部署と連携し、何ができるか考えたい。

という結果を踏まえ、県外への広報の強化、男性向けアーティストの招致を考えている。

5類感染症へ移行後の学校教育活動は

問 制限されてきた学校教育活動を今後どのように戻していくのか。

答 令和5年度に入り、全校集会や避難訓練など、授業中のグループでの話し合い活動、異学年が交流する活動などを積極的に取り入れている。

問 運動会での応援合戦や合唱コンクールなど、大きな声を伴う活動も行っている。



後藤 寿和

※GREEN FLASH FESの総括

問 FESの来客数は。

答 当初の目標であった5千人を大きく上回る約1万人が来場した。

問 来訪者の県内と県外の割合は。

答 県内が約85%、県外が約15%であり、中部地方が最も多く、次いで近畿地方、関東地方の順となっており、北海道や沖縄など、遠方からの来場者もあった。

問 アーティスト側の反響は。

答 SNSやメディアで多数発信されており、会場のロケーション



▲GREEN FLASH FESのステージの様相(芝政ワールド)

問 FESの経済効果は。

答 交通費、宿泊費、飲食経費などを含めて、約5億3000万円の効果があつたと試算している。

問 令和6年に向けてどのように考えているのか。

答 高い評価を得ており、令和6年も開催したいと考えている。開催日数も含めて、今後十分に検討していく。

子どもを核としたまちづくりを

問 こどもの学び・体験に資する文化・スポーツ施設に対し、豊かな人間性を培い、本市への愛着心のため、高校生以下の利用料の無料化を。

答 また、財政予算減収は、



上坂 健司

地域サポート職員制度を

問 地域サポート職員制度導入は。

答 人口減少時代を迎え、地域に根差した課題解決型のまちづくりを進めていく必要がある中、地域と職員の関わり方や役割について、調査研究し、検討する。

問 一律に高校生以下の無料化は、今のところ考えていない。

答 減収は、文化施設で年間130万円、スポーツ施設で2000万円となる。

問 坂井市龍翔博物館は高校生以下の利用料を無料化しているが、手紙の館と丸岡城無料化の方向性は。

答 にぎわいづくりの有効な手段と捉え、他自治体の先行事例を参考に調査研究する。

問 学校給食費に対し、負担軽減の今後の道筋は。

答 令和5年度も食料費の保護者負担を2分の1としており、当面の間は現在の措置を継続する。

問 今後の複合的なことも政策は。

答 主要公園に大型屋根新設や、ひとり親家庭の支援の充実、放課後子ども教室、放課後児童クラブなどの運営の工夫を考えている。



▲地域課題解決のためのワークショップの様子(東十郷地区)

小中学校の体育館に空調設備を

問 本市の小中学校の空調設備の設置状況は。

答 小中学校の普通教室は、平成27年度末に設置が完了しており、特別教室は、令和4年度末での設置率は63%となっている。

体育館については、小中学校ともに空調設備の設置はしていない。

問 子どもたちの健康や災害発生時の避難拠点となる観点から見た、本市の今後の小中学校の体育館への空調設備の取り組みについての見解は。

答 体育館の空調設備導入は重要な取り組みだと考えており、個別の体育館の状況を把握し、先進事例などを含めて調査研究をしていく。

全国的な体育館への空調設備の導入傾向も注視していきたい。

スポーツ振興に充実した設備を

問 丸岡体育館の移転先、機能拡充について、市としてどのように考えているのか。



▲今後の動向が注目される丸岡体育館



佐藤 岳之

答 丸岡体育館は、平成28年度に福井国体の開催にあわせ、大規模な耐震改修工事を行った。

当該施設を丸岡地区の主要体育施設として維持していく方針であり、今後の丸岡城周辺整備基本計画に基づく整備の進捗にあわせて、丸岡体育館の移転先や機能拡充などについて検討を進めていく。

若者が市政に興味を持ち、投票に行くために

問 18歳と19歳の投票率と推移はどうか。

答 過去5年間の平均の投票率は、33%である。

また、推移については、全体の投票率と同様に、減少傾向である。

問 市内の各高校に期日前投票所を設置してはどうか。

答 高校生への選挙啓発という観点からも、大変意義がある。

投票場所、時期などの課題もあることから、各高校と十分協議しながら、検討していく。

問 若者が自分の住んでいるところに興味を持ち、選挙に行きたくなるような方策は考えているか。

答 現在、地域課題の気づきや地域の参画を促すまちづくりカレッジや、市のブランディングを行うSDC事業などに取り組んでいる。

これからも、本市の将来を担う若者が市政に興味を持ってもらえるような取り組みを進める。



▲市内学校で行われた選挙についての出前講座(模擬投票の様子)

※SDC…Sakai Deep Caravanの略。



林 豊夏

ふるさと納税を有効活用するために

問 「市長にお任せ」で寄附されたものを、ルールを決めて一般財源化してはどうか。

答 寄附市民参画制度は、全国に誇れる制度である。

現在、提案されている事業を上回るスピードで、基金が積み重ねられている状況なので、検討委員会の中で検討していく。

誰にでもやさしいまちづくり

問 一時的に車いすを必要とする人に無料で貸し出す車いすの台数と配置状況は。

答 社会福祉協議会の本部に5台、三国支部に4台、丸岡支部に3台、春江支部に8台の合計20台を配置しており、そのうち、子ども用の車いすは4台である。

問 車いす貸出事業の周知方法と認知度は十分か。

答 社会福祉協議会の広報紙「社協だより」に掲載し、ホームページでも事業を紹介している。

問 車いす貸出事業の利用状況は。

答 令和4年度は68件の利用があり、利用者の年齢層は65歳以上の高齢者が6割以上を占めている。

問 車いすを必要とする旅行者数の見込み状況は。

答 芦原温泉駅の聞き取りによると、車いす利用者は年間約240件である。

今後、新幹線の延伸・開業などにより増えていくものと考えており、推移を注視したい。

問 誰にでもやさしい学校施設づく



▲社会福祉協議会の貸出し用車いす



前田 嘉彦

答 入学前の就学相談、就学児健康診断の際に対象者を把握している。

家族については把握していないが、階段の昇降に支障のある人から学校に相談があった場合には個別に対応したい。

文化財について市の考えは

問 市の登録文化財制度は、どのようなものを登録文化財と考え、どのようなものを登録していくのか。

答 市指定文化財以外の保存することが望ましいものを市登録文化財としている。

坂井市文化財保存活用地域計画の未指定文化財から歴史的価値の高いものを優先的に調査し、登録を進めたい。

問 文化財保存活用地域計画の「ふるさと坂井のおたから」に指定されたものから、市の文化財として重点的に保護する必要があるのではないか。

答 指定文化財、未指定文化財とも地域団体と連携し、歴史文化を生かしたまちづくりを進め、地域への誇りと愛着の醸成を図り、地域のお宝として次世代へ継承したい。

問 多くの人が文化財に興味を持つために、文化財の活用をどのように考えているか。

答 歴史的建造物を「ユニークベ



▲令和4年度に策定された坂井市文化財保存活用地域計画

※ユニークベニュー…「博物館・美術館」「歴史的建造物」「神社仏閣」「城郭」「屋外空間(庭園・公園、商店街、公道等)」などで、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場。



廣瀬 陽子

ニューとして活用し、歴史や文化財に触れる機会を創出することで、新たな価値の発見や保存・継承につなげたい。

問 坂井市龍翔博物館とは別の新たな収蔵施設は考えられないか。

答 収蔵物は市内数カ所でも保管しているが、老朽化が進んでいる。今後、埋蔵文化財が増えることも考えられ、様々な意見を聞きながら幅広く議論したい。

人口減少と関係人口の活用は

問 関係人口の活用は、地域の活性化につながるかと考えるが、本市における関係人口の実態と活用方法についての考えは。

答 本市における関係人口は、ふるさと納税による寄附された人で令和4年度は7万9千人、寄附額は15億円を超えている。

また、*竹田Tキャンプや地域おこし協力隊、アーバンデザインセンター坂井と関わった大学生が考えられる。

問 関係人口としての支援や協力を求めるシステムを構築してはどうか。

答 市内外に本市を広く応援する坂井市ファンクラブ**「坂井会（サカハッシュユカイ）」を令和5年6月より募集を開始した。

新たな関係人口を創出するためには、「ヒト、コト、モノ、バシヨ」などに出会い、心に響く経験をすることが重要である。

地域が最も期待する関係人口は、親子や親戚関係であり、ふるさとを離れても生まれ育った故郷を忘れないよう、子どもたちの愛

郷心を育む取り組みを引き続き行う。

問 戸越銀座のアンテナショップを情報発信の拠点としたり、県人会の協力を得たりして、関係人口を増やしたらどうか。

答 県人会、アンテナショップを通して、いろいろな人と交流を図り、関係人口の増加を図っていく。



岡部 恭典



▲地域と交流する竹田Tキャンプの学生たち

※竹田Tキャンプ…竹田地区で大学生が共同生活を送り、住民や行政と連携しながらプロジェクトを実行する実践型の地域活動のこと。
**「坂井会」…坂井市の公式ファンクラブ。坂井市の良さを#(ハッシュタグ)を通じておすすめしてもらいたい。

「ゼロカーボンシティ」の実現は

問 「坂井市脱炭素ロードマップ」とはどういうものか。

答 本市の各地域や各分野での温室効果ガス排出量を調査し、異なる地域や分野の連携によって脱炭素を加速させる将来ビジョンや重点施策などの構想を取りまとめるものである。

問 「坂井市脱炭素ロードマップ」の実現性を高めるための実行計画の着手時期の考え方は。

答 法律において努力義務であることからロードマップ策定後にできるだけ早い段階で策定したい。

問 実質温室効果ガスゼロとはどこから排出する二酸化炭素を減らし、どこで吸収分として相殺するのか。

答 家庭や事業所から出る二酸化炭素を抑制し、森林などによる吸収量を増加させる方法理念により本市の地域特性に合った効果的方法などについてもロードマップで示していきたい。

問 「J-クレジット」において水稲栽培による中干し期間の延長が農家の新たな収入源につながるこ

とから本市としての考えは。

答 実施にあたっては、過剰な中干しによる収量や品質への影響、生産管理記録の提出など、クレジット認証までには課題があると考えるところから効果的な方法について調査・研究していく。



古屋 信二

▼J-クレジット制度とは？

省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、CO2などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

▲J-クレジット制度のHPより

市職員採用試験、自己アピール型の周知と拡充を

問 令和3年度に実施した自己アピール型などの市職員採用試験は、正採用へのチャンスであり、広く周知を。

答 令和6年度については、後期日程で職務経験者を対象に試験の実施を予定しており、職員募集の動画作成するなど、多くの人の目に留まる工夫をする。

問 採用できる職種を保育士などにも広げ、人材確保を。

個室利用の差額ベッド料は

問 入院患者が大部屋を希望したが、満室の場合、個室を利用して差額ベッド料は発生しない、という旨を住民に対し周知しては。

答 医療機関側から個室を勧められた場合は、患者側はその理由を聞き、同意をしたうえで、差額ベッド料を請求される。医療機関は患者への十分な情報提供と説明を行う必要がある。



▲PPAモデル事業を活用したのうねの郷コミュニティセンター

※PPA方式、「0円ソーラー」…事業者が太陽光設備を設置し、施設所有者である企業や住宅所有者などが電気料金などを事業者を支払う契約制度。

ゼロカーボンシティに向け、具体的な取り組みが必要

問 PPA方式、「0円ソーラー」などを提案する。

答 エネルギーの地産地消につながるPPAモデル事業をのうねの郷コミセンで実施した。



畑野麻美子

周知については県に相談しながら進めていく。

春江駅周辺整備事業計画は

問 春江駅周辺整備事業計画は、市立地適正化計画に基づいた国土交通省の補助金を活用した事業か。

答 持続可能な都市構造へ再編を図ることを目的とした、国土交通省の都市構造再編集中支援事業補助金の活用を考えている。

問 事業実施期間および総事業費は。

答 整備計画や適正な事業規模などは令和5年度内を目標に検討するため、総事業費について、現時点で具体的な数字を示すことはできない。

問 また、整備期間は令和9年度を目標としている。

答 春江駅舎整備をどのように考えているのか。

問 具体的に方針は決まっていないが、駅周辺のにぎわいの創出を含め、よりよい春江駅舎整備を進めたいと考えている。

答 まちづくり協議会が、市所有の旧島崎邸を絹織物に関する資料館にする活動を行っているが、国土交通省の補助事業として実施できないか。



▲春江駅周辺の現状



佐藤 寛治

答 補助事業に合致するかどうかについて、地元が望む事業か、歴史的にどう価値があるのか、にぎわいを取り戻すなどが事業目的になるのがポイントになると考えている。

多世代が気軽に使える
フリースペースの整備を

問 市内にあるフリースペースは、各コミュニティセンターのフェコナーや丸岡バスターミナル交流センターの多目的スペース、本庁舎多目棟1階ホールなど、20力所余りある。

問 気軽に多世代が利用できるフリースペースを既存施設に整備できないか。

答 多世代が交流できる場所づくりや、暑さ寒さ対策など、これからの地域づくりやまちづくりの有効な場であると考え、今後、施設整備をする際に検討していく。

熱中症から市民の命を守る
対策を

問 熱中症予防の取り組みは、市のホームページや広報さかいで熱中症予防をテーマにした記事を掲載し、熱中症警戒アラート情報を防災メールで発信する。

問 高齢者の熱中症予防とエアコン利用控えの対策は。

答 地区サロンや介護予防教室、民生委員・児童委員の見守り活動な



三宅小百合

問 小中学校に冷水機を設置できないか。

答 冷水機の設置は熱中症対策の有効な手段であると考え、メリットやデメリットがあるため必要に応じて検討したい。



▲高齢者のための熱中症対策(厚生労働省HPより)

マイナ保険証の混乱と
保険証廃止

問 政府は、令和6年秋に健康保険証を廃止する法案を強行した。全国でトラブルが発生していることに対する市長の認識は。

答 国において対策をとる方向性が示されており、国民の不安を取り除くことが大事である。

空き家対策の前進のために

問 市は、空き家を除却しても固定資産税を軽減する措置ができるよう条例化すれば、除却、売却がしやすいか。

答 効果があると思わないか。家の除却を進める点では有効だが、建物がない土地との税負担の公平性の観点から難しい。

水道責任引き取り制の見直しで、
引き上げ方針を見直し

問 市は、令和6年4月に上下水道料金の2割引き上げを行おうとしている。

答 市は、県から市の供給水量の8



▲市内の老朽空き家



松本 朗

問 割の水を購入している。県水の購入量を見直し、本市の地下水を使えば、市の負担は下がるのではないか。

答 責任水量制の料金設定から、二部料金制にしたとしても、県は総括原価方式のため、県水単価が上がり、費用の削減にはつながらない。

観光戦略特別委員会視察報告

5月16日、17日

教育が一番大切

問 本市の子どもたちをどのように育てていくのか。また、育てていきたいか本市の考えを伺う。

答 令和5年度も、令和4年度に引き続き市内の中学校、高校を全て訪問した。いろいろなメッセージを伝えたいが、いくつか紹介すると、①挨拶ができるようになってほしい、②挑戦してほしい、③ふるさとをしっかりと知ってほしいなど伝えたい。

問 教育はまちづくりの根幹で、地域発展の原点であり、市政で最も大事なのが教育である。学力は大事だが、人への思いやり、感謝、挨拶、協調性が社会に出た時、大きな力になる。子どもたちを取り巻く環境が多様化・複雑化してきている中で、子どもたち自ら課題を見つけ、学び、解決する経験を通して、新たな学びへの意欲を高める環境を作ることが学校教育の使命である。そのためにも、児童・生徒が夢



永井 純一

や希望に満ち、明るく活力ある学校生活を送れることが大切である。

坂井市ならではの教育を充実し、培った経験や学んだことを未来の人生や社会に生かそうとする子どもたちを育てていきたい。



▲坂井市教育委員会学校教育課

愛知県岡崎市

おかざきもっと楽しめマース (Maas) にて

岡崎市では、名古屋鉄道線に1カ月間委託し、観光マースの実証実験を行った。実証実験では、主要駅の混雑状況をリアルタイムに確認できる機能のほか、飲食店などと連携したWebアプリ上で取得できるお得なデジタルクーポンの発行や、岡崎公園では次世代型電動車いすの乗車体験も行った。

また、二次交通の充実のみではなく、観光客の満足度も意識した取り組みであった。特に、シームレスを強く意識している点や、アプリではなく、Webアプリを導入し、情報弱者でも使いやすいとした点は、特に印象的であった。

静岡県伊豆市

観光型Maasにて
伊豆市では、東急線を中心に、「観光型Maasイズコ」として3度の実証実験が実施されたが、結果として、実験前の収益を下げたことなどが課題であった。この実験を踏まえ、東急線、



▲伊豆市での視察の様子

JR東日本線、伊豆急行線が主体となり、現在、伊豆ナビの3つのデジタルプラットフォームを組み合わせたサービスに移行した。

伊豆ナビは、LINEを窓口とし、観光客の利便性を実現し、事業者は、観光客に関するデータ収集や、迅速な情報提供を無料で行なうことを可能とした。実証実験の結果から得た反省点や課題を整理し、短期間で次の事業に取り組んだ点は、参考になった。

今回の視察研修を通じ、二次交通問題などは、民間、周辺自治体、県と一丸となって取り組むべきと感じた。

あなたの写真で、坂井市の魅力を伝えてみませんか？
議会広報の表紙写真を大募集！

発行部数約3万部、市内全世帯に配布される議会広報紙の表紙写真を募集します。発行月は、5月、8月、11月、2月です。季節感あふれる、あなたが撮影した奇跡の1枚をお待ちしています。

- 応募資格** 市内在住、または在勤・在学している人
応募期間 希望掲載月の前月第1日曜日まで
応募要件 ・市内で撮影したもの（概ね1年以内で未発表のもの）
 ・写真は、縦長で撮影された3MB以上の画像データ（JPG、JPEG形式等）
注意事項 ・応募者以外に被写体となっている人の承諾を必ず得てください。承諾を得ていなかった場合のクレーム・トラブルなどについては、一切の責任を負いかねます。なお、個人の所有物に関して、同様とします。
 ・応募された写真は、無償で市議会が使用することに承諾したものとします。また、サイズ調整等のため加工を行うことがあります。
 ・選考は市議会広報編集委員会で行います。
 なお、審査内容についてはお答えできません。
応募方法 ①撮影者の氏名（掲載時に使用、ペンネーム可）、②住所、③電話番号、④掲載希望月、⑤撮影年月、⑥撮影場所、⑦撮影者のコメントを記入し、写真データを添付して、メールで下記アドレスまで送付してください。
問い合わせ 議会事務局 TEL：0776-50-3001
 MAIL：gikai.fukui.sakai@gmail.com

今号の表紙

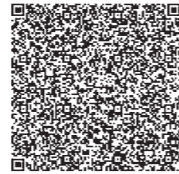
今号の表紙は「わだかめ」さんの撮影作品です。

撮影場所
お天守前公園

コメント
ウェディング馬車など、お天守前公園まで盛大に練り歩きました。沿道からも「かわいいー！」という歓声が上がった文金高島田の花嫁さん。



たくさんのご応募、ありがとうございました。



Check!
スマートフォンでこのバーコードを読み込むと、宛先が入った状態でメールアプリが起動します。

小学生が議場の見学に来ました！

令和5年6月に6つの小学校から3年生の児童が議場の見学に訪れ、議会の仕組みを学びました。元気いっぱい手を挙げ、質問をしていました。



▲ 平草小学校のみなさん



▲ 三国北小学校のみなさん



▲ 雄島小学校のみなさん



▲ 春江西小学校のみなさん



▲ 木部小学校のみなさん



▲ 磯部小学校のみなさん

議会を傍聴してみませんか

★9月定例会会期日程（予定） ※ 日程は、変更になる場合がありますので、あらかじめご了承願います。

9月1日(金)10時～	本会議(行政報告・議案説明など)
11日(月)・12日(火)・13日(水)10時～	本会議(一般質問)
15日(金)10時～	産業建設常任委員会
19日(火)10時～	教育民生常任委員会
20日(水)10時～	総務常任委員会
27日(水)10時～	本会議(委員長報告・採決など)

編集後記

今年の夏も豪雨にみまわれた日本列島、そして被害は坂井市にも。雨雲レーダーで近づく真っ赤な雲と「線状降水帯」という予報の言葉に恐怖を覚え、1時間に50ミリ以上の雨となれば、バケツをひっくり返したような雨で、排水溝も機能せず一面が湖となってしまう。毎年のように冠水被害の出る地域は早急に川の浚渫や排水溝の拡張などの工事が必要でしょう。被害を抑制するための物理的な対策とともに、市民の安全を守るためには危険を広く確実に知らせることで避難への誘導が大切です。行政の周知とともに地域で声掛けなどで命を守る行動がとられる場合があります。日頃のご近所付き合いこそが、防災の第一歩かもしれません。

(伊藤宏美)

広域連合・一部事務組合議会報告

坂井地区広域連合

坂井市とあわら市で構成。介護保険、さかいクリーンセンター、代官山斎苑墓地に関する事業を行う。
 ■令和5年2月：第76回定例会
 ●可決「令和4年度一般会計補正予算(第3号)」
 ●可決「令和5年度一般会計予算」
 他5件を可決

福井坂井地区広域市町村圏事務組合

坂井市・福井市・あわら市・永平寺町で構成。主に清掃センター、YONETSU-KANささおかの運営、電子計算組織(福井市を除く)の共同利用を行う。
 ■令和5年3月：第186回定例会
 ●可決「令和4年度一般会計補正予算」
 ●可決「令和5年度一般会計予算」
 他4件を可決

福井県後期高齢者医療広域連合

県内すべての市町で構成。被保険者の資格の管理や保険料の決定、医療の給付などに関する事務を行う。
 ■令和5年3月：第1回定例会
 ●可決「令和5年度一般会計予算」
 ●可決「令和5年度後期高齢者医療特別会計予算」
 他4件を可決

越前三国競艇企業団

坂井市と越前市で構成。競艇事業の運営を行う。
 ■令和5年3月：第1回定例会
 ●可決「令和5年度モーターボート競争事業会計予算」
 ●可決「職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例」
 他2件を可決

嶺北消防組合

坂井市とあわら市で構成。
 ■令和5年3月：第1回定例会
 ●可決「令和4年度一般会計補正予算(第2号)」
 ●可決「令和5年度一般会計予算」
 他3件を可決
 ■令和5年5月：第2回臨時会
 ●可決「令和5年度一般会計補正予算(第1号)」

五領川公共下水道事務組合

坂井市と永平寺町で構成。九頭竜川麓川敷およびその周辺の区域に係る公共下水道の設置、修繕、その他の管理に関する事務を行う。
 ■令和5年3月：第117回定例会
 ●可決「令和5年度五領川下水道事業会計予算」
 ●可決「五領川公共下水道事務組合個人情報保護法施行条例の制定について」

議会を開きます



坂井市議会 令和5年9月 第4回定例会

9/1(金) ~ 9/27(水) 開催予定

9月 1日(金) 本会議(初日)	9月15日(金) 産業建設常任委員会
9月11日(月) 一般質問(1日目)	9月19日(火) 教育民生常任委員会
9月12日(火) 一般質問(2日目)	9月20日(水) 総務常任委員会
9月13日(水) 一般質問(3日目)	9月27日(水) 本会議(最終日)

※ 日程は、変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください

- ・日程については市議会ホームページでもご覧いただけます
- ・各議員の一般質問については後日YouTubeにて配信されます



▲議会ホームページ



▲YouTubeチャンネル

問合せ先 坂井市議会事務局 Tel. 0776-50-3001



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキを使用しています。